

## 第19回「県内企業景気動向調査」結果速報 (平成21年5月調査)

※5月調査は、この後にヒアリング調査の結果を含めた確報版を公表します（6月中旬）。

### 【景気動向調査の要旨】

- ◆ 県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I 値（「自社の業況」D I 値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲46.6となっており、前回調査時点（平成21年2月）と比べて2.0ポイント低下したが、下げ止まりの兆しが伺える。
- ◆ 業種別では、建設業とサービス業のD I 値（前年同期比）がわずかに改善を示したが、概ね横ばい。製造業と卸・小売業は引き続き悪化している。
- ◆ 地域別では、「自社の業況」D I 値（前年同期比）がすべての地域で「悪い」超。村山北部と庄内田川、庄内飽海では前回調査時点と比べてD I 値が低下した。特に、庄内田川と庄内飽海はD I 値が過去最低の水準となるなど、景気の悪化が目立った。
- ◆ 業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲44.3となっており、先行き不安感もいくぶん和らいだ。

### 【特別調査の要旨】

- ◆ 夏季ボーナスの支給動向について
  - ・ 夏のボーナス支給を予定している企業の割合は38.4%であり、昨年に比べて14.2ポイント減。業績不振の影響を大きく受ける格好となった。
  - ・ 1人当たり支給額は「減らす」と回答した企業が34.8%。平均支給額は254,083円となっており、昨年に比べて21,001円（7.6%）の減少となる見込み。

平成21年5月

株式会社荘銀総合研究所

## I. 山形県の景気動向

### 1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I 値（「自社の業況」D I 値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲46.6となっており、前回調査時点（平成21年2月）と比べて2.0ポイント低下したが、下げ止まりの兆しが伺える。

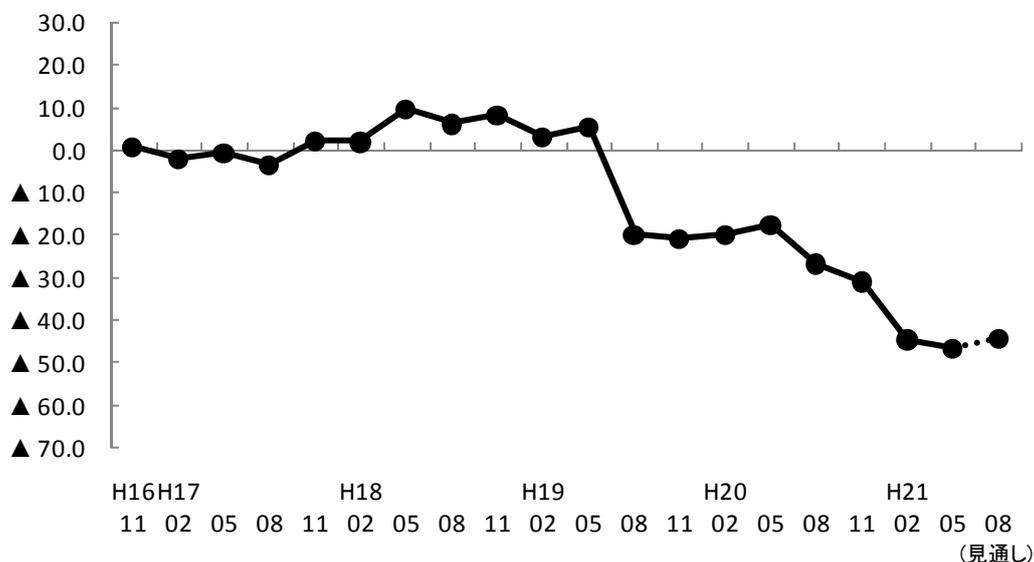
業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲44.3となっており、先行き不安感もいくぶん和らいだ。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
		(前期比)				
H 20.05	▲17.5	(▲23.5)	▲6.0	▲21.5	▲6.7	▲22.9
H 20.08	▲26.8	(▲22.1)	▲10.8	▲26.2	▲7.6	▲24.0
H 20.11	▲31.0	(▲23.4)	▲23.7	▲33.6	▲9.2	▲30.5
H 21.02	▲44.6	(▲41.0)	▲41.5	▲39.4	▲27.1	▲31.8
H 21.05	▲46.6	(▲45.0)	▲45.4	▲42.7	▲26.1	▲33.7
H 21.08(見通し)	▲44.3	(-)	▲39.2	▲42.3	▲11.9	▲43.1

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



## 2. 業種別の動向

### (1) 建設業

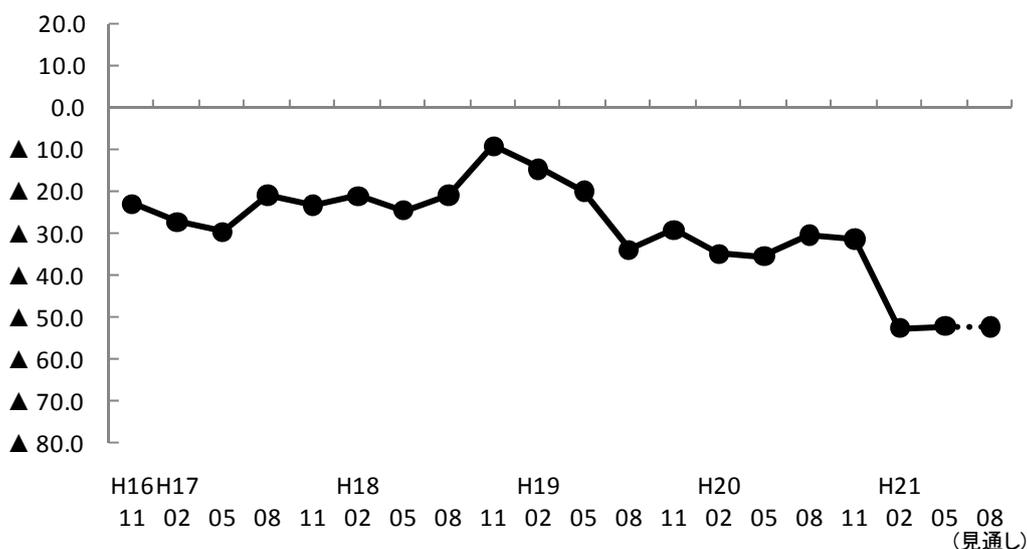
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲52.4 となっており、前回調査時点と比べて 0.3 ポイント改善したものの、横ばいで推移している。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲52.5 となっており、依然として先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)					
H 20.05	▲35.5	(▲37.1)	▲22.5	▲31.4	▲35.5	▲26.6	▲34.6
H 20.08	▲30.5	(▲33.0)	▲24.3	▲33.9	▲37.4	▲19.1	▲31.3
H 20.11	▲31.5	(▲17.7)	▲35.5	▲44.4	▲31.5	▲5.6	▲38.8
H 21.02	▲52.7	(▲43.0)	▲48.3	▲45.6	▲55.3	▲35.1	▲39.5
H 21.05	▲52.4	(▲46.7)	▲47.6	▲48.3	▲44.2	▲34.4	▲44.2
H 21.08(見通し)	▲52.5	(-)	▲50.0	▲54.9	▲43.5	▲15.6	▲60.7

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



（2）製造業

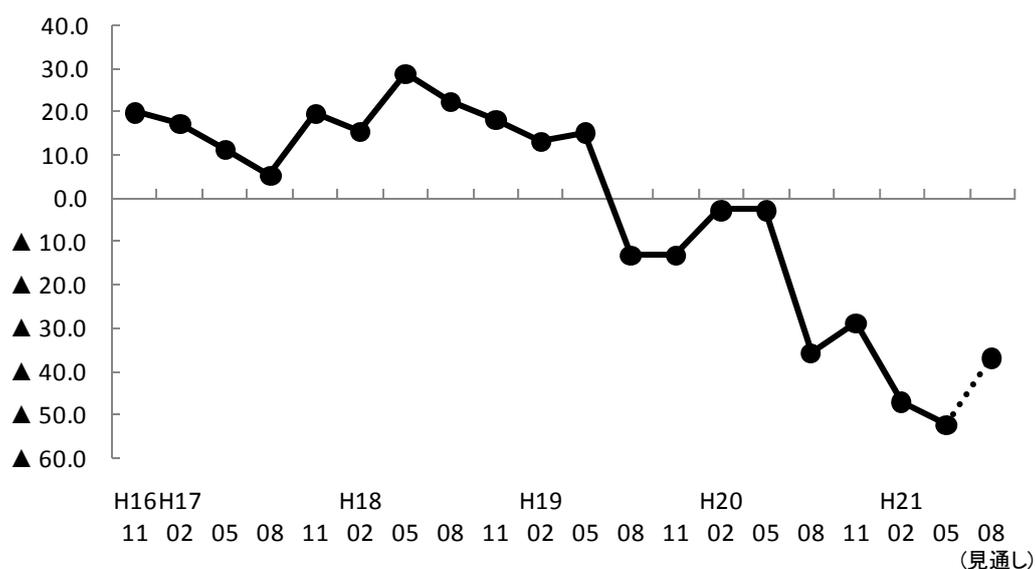
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」DI値（前年同期比）は▲52.4となっており、前回調査時点より5.2ポイント低下するなど、引き続き悪化している。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が▲37.0となっており、先行き不安感が先行しているものの、業況悪化に下げ止まりの兆しが見られる。

各DI値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)							
H 20.05	▲2.8	(▲11.2)	4.9	▲15.3	▲83.3	▲17.4	▲7.0	▲11.1
H 20.08	▲35.7	(▲28.7)	▲16.3	▲30.2	▲84.5	▲13.2	▲10.1	▲17.8
H 20.11	▲28.8	(▲22.7)	▲19.7	▲28.0	▲72.0	▲15.2	▲27.3	▲31.8
H 21.02	▲47.2	(▲44.4)	▲44.4	▲47.2	▲12.7	▲20.4	▲43.0	▲36.6
H 21.05	▲52.4	(▲50.4)	▲51.0	▲50.3	7.9	▲31.8	▲46.3	▲35.1
H 21.08(見通し)	▲37.0	(-)	▲33.8	▲34.5	2.0	▲29.8	▲18.6	▲43.7

「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



(3) 卸・小売業

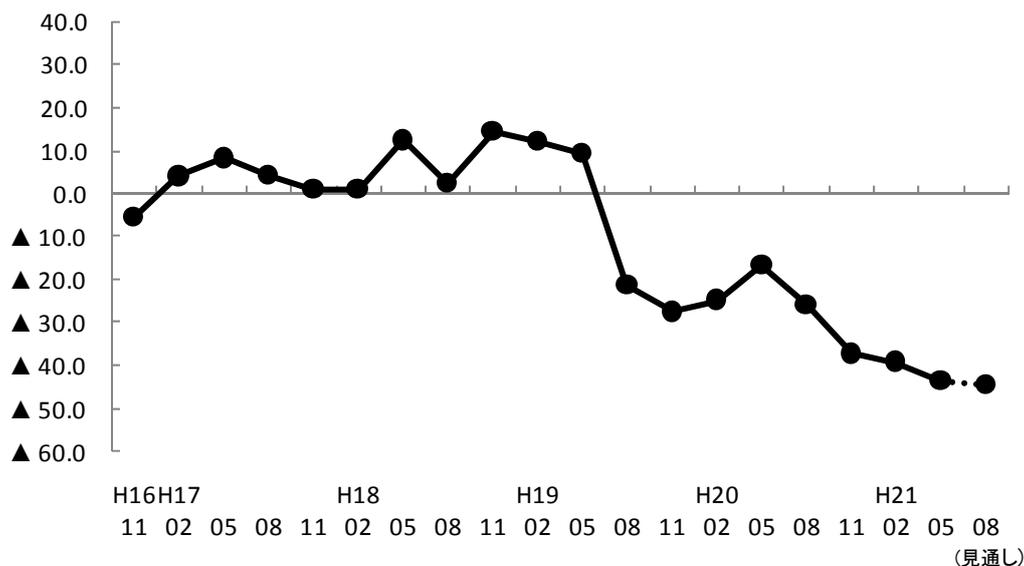
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲43.6 となっており、前回調査時点より 4.4 ポイント低下するなど、引き続き悪化している。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲44.4 となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)							
H 20.05	▲16.5	(▲24.3)	0.0	▲18.3	▲69.6	▲8.7	▲0.8	▲22.6
H 20.08	▲25.8	(▲10.3)	4.3	▲19.8	▲69.0	▲9.5	▲4.3	▲26.7
H 20.11	▲37.2	(▲33.3)	▲21.6	▲28.5	▲55.9	▲16.7	▲7.8	▲19.7
H 21.02	▲39.2	(▲37.3)	▲40.0	▲22.6	▲22.6	▲18.2	▲15.7	▲23.5
H 21.05	▲43.6	(▲44.5)	▲47.0	▲35.0	▲10.3	▲22.2	▲11.1	▲29.9
H 21.08(見通し)	▲44.4	(-)	▲35.1	▲39.3	▲3.4	▲39.3	▲7.7	▲35.9

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



（4） サービス業

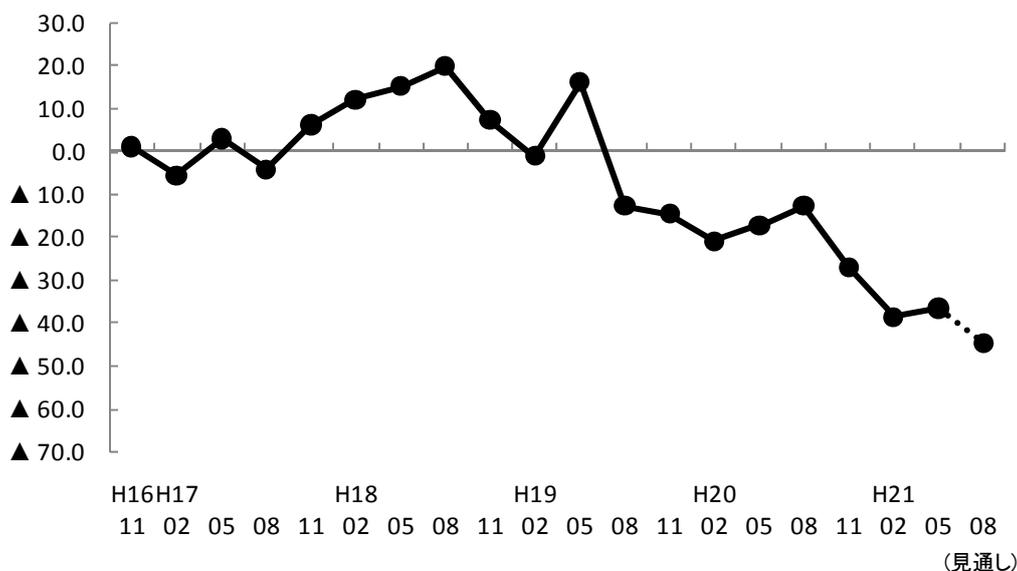
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲36.6 となっており、前回調査時点より 2.1 ポイント改善したものの、横ばいで推移している。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲44.7 となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
		(前期比)				
H 20.05	▲17.4	(▲23.4)	▲7.8	▲21.7	9.6	▲25.2
H 20.08	▲12.8	(▲14.7)	▲5.9	▲19.6	4.9	▲20.6
H 20.11	▲27.1	(▲21.5)	▲16.9	▲32.7	7.5	▲30.0
H 21.02	▲38.7	(▲38.8)	▲32.8	▲40.5	▲12.2	▲26.1
H 21.05	▲36.6	(▲37.4)	▲35.0	▲35.0	▲7.3	▲25.2
H 21.08(見通し)	▲44.7	(-)	▲39.0	▲42.2	▲4.1	▲31.7

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



### 3. 地域別の動向

#### (1) 概況

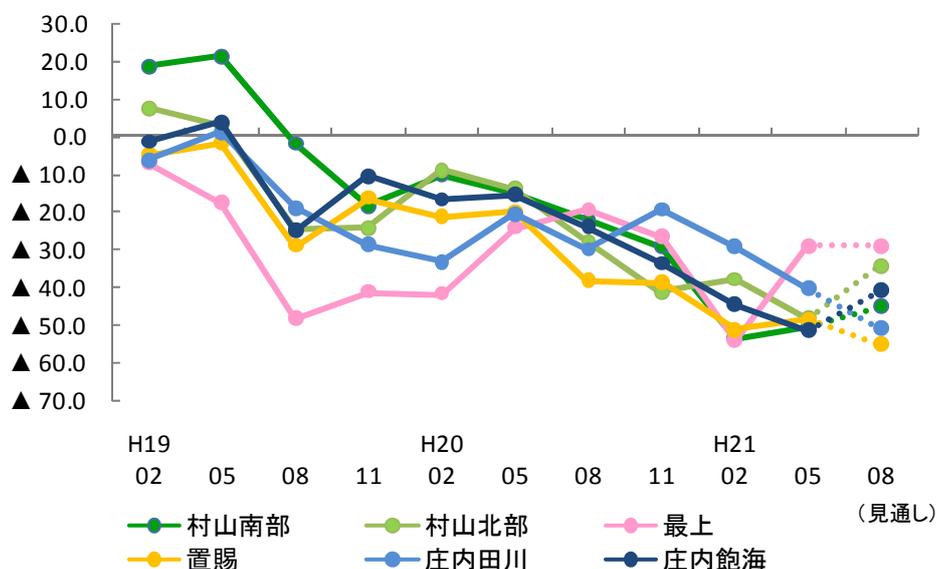
県内各地の景気動向は、「自社の業況」D I 値（前年同期比）がすべての地域で「悪い」超。村山北部と庄内田川、庄内飽海では前回調査時点と比べてD I 値が低下した。特に、庄内田川と庄内飽海はD I 値が過去最低の水準となるなど、景気の悪化が目立った。一方、D I 値が改善した地域の中では最上の改善状況が最も目立ったものの、その他の地域は総じて低調であった。

業況の先行き見通しは、置賜と庄内田川で先行き不安感がさらに増しているほか、総じて浮揚感に乏しい。

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）

（前年同期比） （調査時点）	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
H 20.05	▲15.2	▲13.8	▲24.3	▲20.0	▲20.5	▲15.6
H 20.08	▲22.0	▲27.9	▲19.5	▲38.2	▲29.9	▲24.0
H 20.11	▲29.3	▲41.3	▲26.5	▲38.6	▲19.4	▲33.7
H 21.02	▲53.7	▲38.0	▲54.1	▲51.3	▲29.3	▲44.6
H 21.05	▲50.4	▲48.4	▲29.2	▲48.7	▲40.4	▲51.5
H 21.08(見通し)	▲45.1	▲34.4	▲29.2	▲55.2	▲51.0	▲41.0

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(2) 各地の主要D I 値の動向

① 村山南部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 21.02	▲53.7	(▲44.7)	▲46.3	▲43.1	▲22.8	▲27.6
H 21.05	▲50.4	(▲50.4)	▲45.9	▲34.6	▲24.8	▲31.5
H 21.08(見通し)	▲45.1	(-)	▲42.8	▲48.1	▲12.7	▲37.6

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.02	▲63.1	▲46.7	▲57.2	▲51.2
H 21.05	▲47.4	▲48.5	▲60.0	▲43.9
H 21.08(見通し)	▲26.3	▲51.5	▲47.5	▲46.4

② 村山北部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 21.02	▲38.0	(▲36.6)	▲39.4	▲33.8	▲45.1	▲29.6
H 21.05	▲48.4	(▲40.6)	▲48.5	▲46.9	▲35.9	▲28.1
H 21.08(見通し)	▲34.4	(-)	▲26.5	▲26.6	▲12.5	▲32.8

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.02	▲61.1	▲41.4	▲8.3	▲25.0
H 21.05	▲70.6	▲35.7	▲50.0	▲45.4
H 21.08(見通し)	▲64.7	▲10.7	▲50.0	▲36.3

③ 最上

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 21.02	▲54.1	(▲59.5)	▲59.5	▲43.3	▲24.3	▲51.4
H 21.05	▲29.2	(▲22.0)	▲46.3	▲36.6	▲26.8	▲43.9
H 21.08(見通し)	▲29.2	(-)	▲31.7	▲24.4	▲14.7	▲46.4

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.02	▲70.0	▲62.5	▲33.3	33.4
H 21.05	▲26.3	▲77.8	0.0	0.0
H 21.08(見通し)	▲31.6	▲44.4	33.3	▲57.1

④ 置賜

（全業種）

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 21.02	▲51.3	(▲47.3)	▲54.1	▲59.4	▲39.1	▲44.6
H 21.05	▲48.7	(▲50.0)	▲43.4	▲51.3	▲40.8	▲44.7
H 21.08(見通し)	▲55.2	(-)	▲46.1	▲52.7	▲19.7	▲57.9

（業種別「自社の業況」D I 値）

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.02	▲70.6	▲50.0	▲35.0	▲54.5
H 21.05	▲64.3	▲62.1	▲47.1	▲12.5
H 21.08(見通し)	▲57.1	▲51.8	▲64.7	▲50.0

⑤ 庄内田川

（全業種）

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 21.02	▲29.3	(▲24.3)	▲27.3	▲27.3	▲21.2	▲26.3
H 21.05	▲40.4	(▲44.7)	▲45.8	▲40.5	▲23.4	▲37.3
H 21.08(見通し)	▲51.0	(-)	▲42.6	▲41.5	▲10.7	▲50.0

（業種別「自社の業況」D I 値）

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.02	▲16.7	▲42.3	▲37.5	▲20.0
H 21.05	▲57.7	▲48.0	▲23.8	▲27.2
H 21.08(見通し)	▲69.2	▲32.0	▲52.4	▲50.0

⑥ 庄内飽海

（全業種）

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 21.02	▲44.6	(▲45.8)	▲33.7	▲33.7	▲15.7	▲26.5
H 21.05	▲51.5	(▲46.7)	▲43.8	▲48.6	▲13.3	▲24.8
H 21.08(見通し)	▲41.0	(-)	▲37.2	▲44.8	▲4.7	▲38.1

（業種別「自社の業況」D I 値）

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.02	▲43.7	▲52.2	▲33.3	▲46.2
H 21.05	▲51.9	▲59.3	▲40.0	▲53.9
H 21.08(見通し)	▲59.3	▲33.3	▲36.0	▲34.6

## Ⅱ. 景気天気図

※ 天気図とは、地域別・業種別に「自社の業況」DI値（前年同期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調 DI $\geq$ 30	好調 30>DI $\geq$ 10	まあまあ 10>DI $\geq$ ▲10	不振 ▲10>DI $\geq$ ▲30	きわめて不振 ▲30>DI

### ◆ 前期の概況（平成21年2月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

### ◆ 今期の概況（平成21年5月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

### ◆ 来期の見通し（平成21年5月調査）

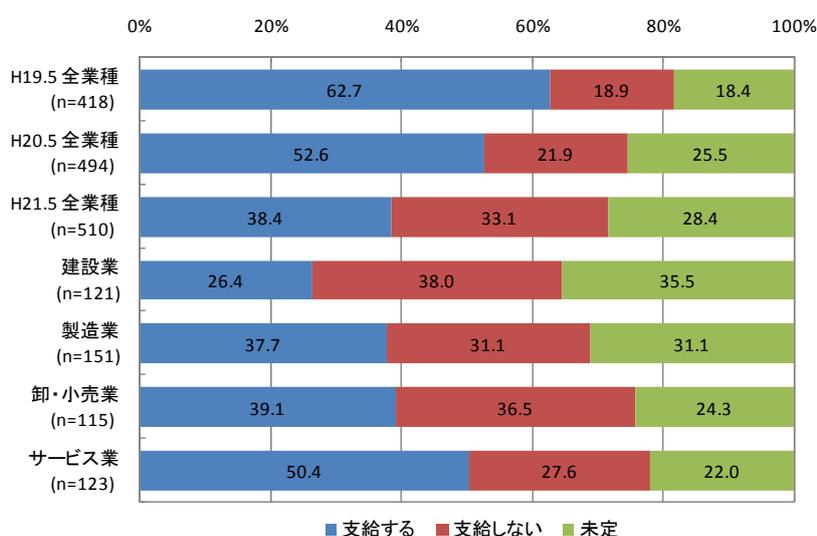
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

### Ⅲ. 特別調査：夏季ボーナスの支給動向について

夏季ボーナスの支給予定について尋ねたところ（下図参照）、全業種では38.4%が「支給する」と回答した。「支給する」と回答した企業は、昨年夏季に比べて14.2ポイント減るなど、業績不振の影響を大きく受ける格好となった。

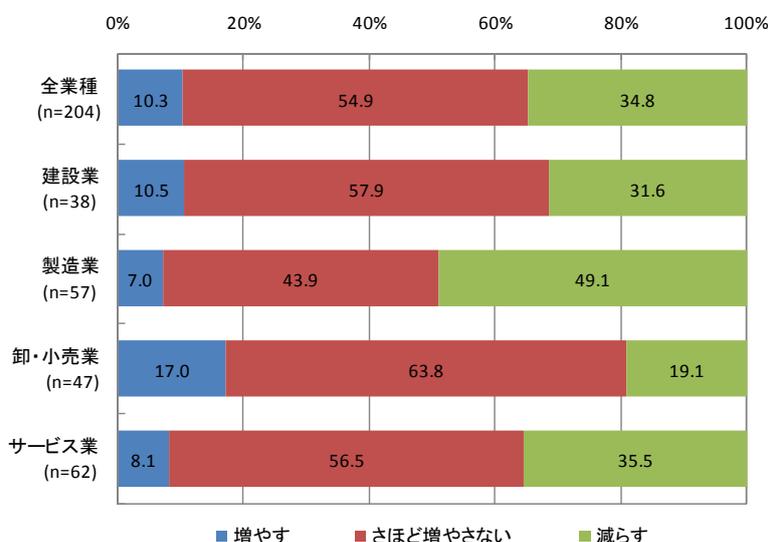
業種別では、「支給する」と回答した企業の割合が最も高かったのはサービス業で、50.4%であったが、建設業では「支給する」と回答した企業は26.4%にとどまったほか、製造業と卸・小売業でも過半数を割るなど低調であった。

夏季ボーナスの支給予定動向（割合）



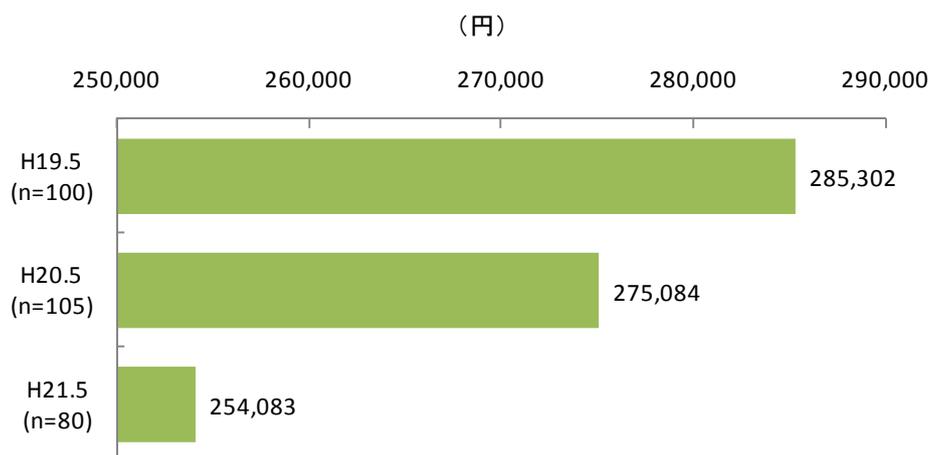
また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年と比べて1人あたりの支給額を増やすかどうか尋ねたところ（下図参照）、全業種でみて「さほど増やさない」と答えた企業が最も多く、54.9%であった。「減らす」と答えた企業は34.8%であった。

夏季ボーナスを「支給する」企業の支給態度



なお、具体的なボーナスの支給予定額については（下図参照）、全業種平均で254,083円であった。今季は、昨年の夏に比べて21,001円（7.6%）の減少となる見込み。

冬季ボーナスの支給動向（支給額）



#### IV. 調査の概要

- 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

- 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

- 調査期間

平成21年5月7日（木）～18日（金）

- 調査の対象企業数および有効回答数（回答率）

調査対象企業数：887社

有効回答企業数：513社（回答率57.8%）

- 地域区分

図表IV-1の通り。

図表IV-1 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

- 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表IV-2の通り。

図表IV-2 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のD I 値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

V. 参考資料：基調判断用語の凡例

使用例：景気

<p>(DI 値)</p> <p>+100</p> <p>回復 (改善)</p> <p>上向き</p> <p>底離れ</p> <p>底入れ</p> <p>(時間軸)</p> <p>-100</p> <p><b>拡張局面</b></p>	<p>景気は回復している</p> <p>景気は回復しつつある</p> <p>景気は回復の兆しがみられる</p> <p>景気は上向いている</p> <p>景気は上向きつつある</p> <p>景気は上向き兆しがみられる</p> <p>景気は底離れした</p> <p>景気は底離れしつつある</p> <p>景気は底離れの兆しがみられる</p> <p>景気は底入れした</p> <p>景気は底入れしつつある</p> <p>景気は底入れの兆しがみられる</p>
<p><b>横向き局面</b></p> <p>一服 → ↑↑↑↑ 一服 : これまでの回復が止まり、横ばいとなっている</p> <p>踊り場 → ↑↑ (先行き上昇期待大)</p> <p>一進一退 → (先行き上昇期待小)</p> <p>横ばい → ↓↓ 踊り場 : これまでの回復が止まり、横ばいとなっている</p> <p>伸び悩み → ↓↓↓↓ 一進一退 : 増減を繰り返しているが、水準は不変</p> <p>低迷 (低調) → ↓↓↓↓ 横ばい : 横ばいとなっている</p>	
<p>(DI 値)</p> <p>+100</p> <p>鈍化</p> <p>減速</p> <p>弱含み</p> <p>悪化 (減少)</p> <p>(時間軸)</p> <p>-100</p> <p><b>後退局面</b></p>	<p>景気は鈍化の兆しがみられる</p> <p>景気は鈍化しつつある</p> <p>景気は鈍化している</p> <p>景気は減速の兆しがみられる</p> <p>景気は減速しつつある</p> <p>景気は減速している</p> <p>景気は弱含みの兆しがみられる</p> <p>景気は弱含みつつある</p> <p>景気は弱含んでいる</p> <p>景気は悪化の兆しがみられる</p> <p>景気は悪化しつつある</p> <p>景気は悪化している</p>

#### ＜お知らせ＞

F S N会員専用ホームページ（<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>）にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ（<http://www.sfsi.co.jp/>）「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

#### ＜お問い合わせ先＞

株式会社荘銀総合研究所

研究開発グループ 熊本／齋藤（信）

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL：023-626-9017

FAX：023-626-9038

E-mail：kenkyuu@sfsi.co.jp

URL：http://www.sfsi.co.jp/